

**金武町
教育委員会
広報**

【第19号】



金武小 新プールで初泳ぎ!!



目次

各学校の取り組み	2	やんばる駅伝	9
教育相談より	5	町民体育大会(軟式野球競技)	10
沖縄県高校総体 フェンシング競技大会	6	懐かしいあの頃へ タイムスリップ	11
県外視察訪問	8	深夜はいかい防止町民大会	12
スーパードッジボール大会	9	編集後記	12



5月19日(水)、金武小学校ではプール開きが行われました。新しいプールの完成を待ちわびていた児童たちは、おおはしゃぎでした。これから夏本番!安全には十分気をつけて水泳学習を楽しみましょう♪

中川小学校便り

「なかがむつわ」の

トウモロコシ収穫…幼稚園

5月18日（火曜日）、雨天の合間に、幼稚園教材園のトウモロコシの収穫を行いました。種類は、生でも食べられる「スイートコーン」。このトウモロコシは昨年度に、今の3年生児童2人が担任の川上明美先生といっしょに植えたものです。

栽培してからしばらくは草丈が低く、果たしてどの程度稔るのか気になっていましたが、園児達自らもぎ取って手にとつて喜ぶくらいの大さに生長していました。

担任の奥間直美先生の指示に従って、まず、表皮をはぎ取り、「ひげ」もきれいに取りました。現れた大きな粒の実生をみて「すごい、すごい」を連発していました。少し虫食いの部分も

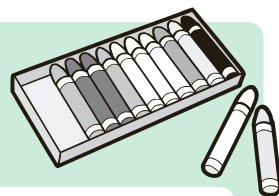
あり、子ども達から「虫が食べている」との声がありましたが、直美先生から「虫がいるということは、薬を使ってないから良いことだよ」と言う納得した様子でした。

きれいに水洗いした後は、生で食べました。試食後の感想を訊いたところ「おいしかった」「甘かった」「お菓子よりおいしくなかった」「にがかった(?)」などの声がありました。

「食育」が叫ばれて久しいが、身近に栽培したものを自分たちの手で収穫し、そして、味見まですることは「食の安全・安心」の観点からも、まさに「生きた教育」であると思います。「地産地消」が言われる今日、食の大切さを経験させるためにも、園児・児童達には今後このような経験をさせていきたいと思っています。

母の日図画・作文コンクール

入賞者



沖縄森永乳業特別協賛「第48回母の日図画・作文コンクール」が行われ
本校からも応募し、下記の児童が表彰されました。

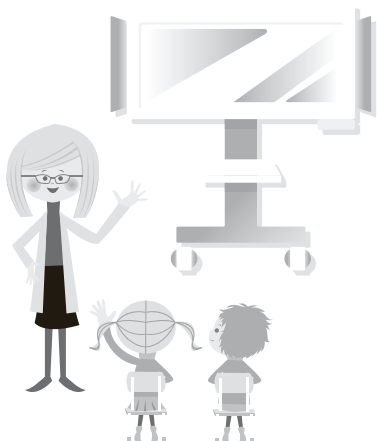
- 【佳作】 榎本 真菜 平良 遥
 【入選】 花城 翼 仲本 桃 宜志富勇吾 大城 彩葉 河上 英生
 小橋川佳連 比嘉 萌

おめでとうございます。みんな、これからもいろいろなコンクールにチャレンジしよう!!!

電子黒板利用の学習指導…先進的

昨年度の町教育委員会予算で、本校に電子黒板が7台導入されました。この器具は非常に優れたもので、従来の黒板やコンピュター、プロジェクター、テレビ・DVDプレイヤーなどの機能を兼ね備えたものです。

板書・教材提示・タイマー・インターネット利用・教育テレビ視聴・DVD視聴などの多面的な活用を通して学力向上を目指し、朝の学習や教科の授業時間などで活用しています。なお、本町内の学校はすべて導入しています。



金武小学校校長室便り 『同時』よ

一人一人の学力の向上を目指して

どこの学校も教育目標を設定し、その実現に向けて取り組んでいることは共通であり、文言の表現は多少異なりますが基本的には知・徳・体のバランスのとれた人間の育成を目指します。最近では知・徳・体の土台となる「食」が追加される例も見られます。背景としては「偏食」による心身の成長に影響が見られることや、「孤食」等も含めて食の大事さ（食育）が求められています。

学校では毎年、改善すべき項目（学校評価・点検項目）を職員で実施し学力に関する調査・体力等の調査数値や学校における児童の様子等をもとに絞り込み学校課題の優先順位の高い項目から重点目標を設定していき



ます。

そこで今年も本校の最重要課題が「学力の向上」になっていきます。学年によって多少の差はありますが学年が進むにつれて男女差が大きくなり男子の課題はより大きくなっています。課題克服には学校・家庭・地域・行政そして本人の努力がかみ合って動き出すことが重要であり効果的です。そこで「学校・地域・家庭」同時に取組むべき事を提案しご協力をお願いします。

【1学校では電子黒板で授業の工夫・改善中！】

今年、学校では全学年に設置された電子黒板を活用した授業の工夫・改善が学校にとって課題克服の大きな取組になります。今年度、専門講師を招聘し電子黒板の活用の仕方について全職員で研修を受けました。早速、朝の基礎・基本タイムにおける反復学習や国語・算数・社会で電子黒板を活用した授業の工夫・改善が行われています。今後とも研修を深め授業の改善が図られるものと期待しているところでです。

【2地域では6:30の声かけを！】

学校での授業が終わると学級で帰りの会の中で今日の良かった点・反省すべき点を発表し、宿題内容や明日の予定をノートに記録し「さよなら」をします。学級を出ると自分のスケジュール

ルに従い「部活動へ」「習い事へ」

「帰宅後、部活へ」と向かっていきます。運動で汗を流す、好きな金管バンドで技能を磨く事で充実感と共に人間関係力を身に付けていきます。日々の生活の中で放課後の活動と家庭学習の両立がバランスのとれた人間としての成長に繋がります。両立を目指し、保護者・地域の大人・部活指導者には6:30（帰宅）の指導や呼びかけをお願いします。

【3家庭では学習環境づくりと声かけを！】

早寝・早起き・朝ご飯の生活リズムの確立と家庭学習の出来る環境づくりと声かけの継続をお願いします。

幼・1年 交通安全指導

新学期、1年間のスタートと共に交通事故から身を守る上で



交通ルールを知り、守ることをねらいとして実施しました。体育館で腹話術を取り入れて幼稚園児・1年生の発達段階に合わせ、分かりやすく交通事故の怖さを伝え、ルールを守ることで自分の身を守ることの大事さを伝えました。その後、国道に出て信号を見て、左右を確かめて横断することを指導員の指導のもと体験学習しました。身を守る為の交通ルール・マナーを身に付けていくには家庭でも子ども

にも信号の押し方・渡り方を生
活の中で体験させていくことが
大切です。参加頂きました町商
工会婦人部の皆さん園児・児童
一人一人への手作りのお守り有
り難うございました。

5月授業参観・学級(学年)PTA

新学期スタートして学校・学
級での生活も落ち着いてきたと
ころで今年初めての授業参観が
行われました。どの学級でも多
くの保護者が子ども達の学習を
参観された事に感謝しています。

今年から電子黒板が設置され
授業の工夫改善に向けて取り組
んでいるところです。また、本
校では今年度より朝の基礎・基
本タイム(火・水・木の30分間)
を設定し反復学習を取り入れて
います。朝の反復学習は一人一
人に基礎・基本をしっかりと身に
付けることをねらいとし、学習
内容を2度3度と繰り返しなが



ら新しい内容を順次入れ替えて
いきます。反復を重ねることで
知識・技能が身に付き定着して
いく割合が高くなっています。
学習内容として漢字・熟語・
ことわざ・音読・計算等を基本
とし学年に応じて社会科が追加
されたりします。朝一番に取り
組むことで集中力と脳の活性化
も促されるとのメリットもあり、
どの学級でも児童の学習に対す

る姿勢の変容が見られてきまし
た。

今回の授業参観では2・3・
5年は朝の反復学習の取組を授
業参観に設定しました。いかが
でしたでしょうか。

【参加人数】

授業参観…327名 学級P
TA…86名

授業参観者については多くの
保護者が参観し児童も喜んだこ
とと思います。今後とも学校に
足を運んで頂きたいと思いま
す。学級PTAまで時間を割いて頂
いた方には重ねて感謝申し上げ
ます。学年によっては参加者が
少なく学年代表の役員が決まら
ずPTA総会を迎える事になっ
ています。担任・PTA役員の
皆さんも学年PTA行事等を心
配しているところです。

朝の読み聞かせ

「めくめく」へ歓迎と感謝!

4月末に、世話役の奥間さん

から新たに「ぬくぬく」に参加された新メンバーが数名いらっしゃるとの報告を受けました。最近、メンバーの減少傾向に学校としても心配しているところでしたがこの朗報に学校・学級担任も喜んでいきます。また、これまででも長期にわたり継続し、募集の呼びかけ、運営等にもご尽力頂きました皆さんにも感謝と共に今後ともよろしくお願ひ致します。

現在、十数名の読み聞かせボランティア「ぬくぬく」の皆さんが、月曜日の職員朝会の時間帯、8時25分より各クラスに入り子ども達に読み聞かせを行っています。地域の方や保護者が関わることで児童一人一人が地域の一員としての意識の芽生えに繋がると考えており多くの方が参加することを期待しています。学校としても職員朝会の20分間は1週間の予定確認・連絡

調整等で非常に助かっています。「有難うございます」。

ぬくぬくのメンバーは随時募集!

4月末よりスタートしましたが、もっと多くの方が参加して頂ければ余裕を持って全クラスに配置、あるいは2人での読み聞かせ等もできます。初めての方「大歓迎!」、安心してできるように「ぬくぬく」の皆さんと一緒に支えてくれます。「やってみてほしい」「推薦したい」との声を待っています。

「連絡は下記へお願いします」

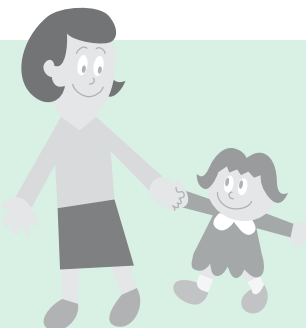
●ぬくぬくメンバー

●司書の宜野座恵子さん



教育
相談室
より

お母さんは「家の太陽」



私は共働きをしているお母さんは偉いと思います。主婦業のお母さんもです。将来を担う子どもたちや働くお父さんを支えているからです。

お母さんは忙しい時に限って、お父さんや子どもたちに声をかけられたりします。また、自分の時間がなかつたりすると、ついイライラしてガミガミ周りにあたり散らしてしまいます。

すると、子どもが不安そうな顔、お腹が痛い、頭が痛いという症状にまでなります。そういう場合には、お母さんがゆったりと子どもと目線をあわせて笑顔で向き合うと、また元気になり

ます。家族で話し合うこと、何よりもお父さんの協力が一番大切です。

子どもが大人になって、しっかり仕事をするために、お母さんは子どもたちと向き合って笑顔・愛語・賛嘆・祈り・感謝をして楽しむことが大切です。

お母さんは『家の太陽』です。まずは元気に、自分の健康に気をつけて「家族の健康は私が守る!」という気持ちで頑張ると家庭円満になります。お父さん、お母さん頑張ってください。

(教育相談室より)



平成22年5月29日(土)30日(日)に沖縄県高等学校総合体育大会フェンシング競技大会が、金武町立体育館において行われました。この大会は全国大会の予選も兼ねており、ポイントを取るたびに選手達の大きな声が体育館に響きわたり、熱戦が繰りひろげられました。女子の部では個人戦、団体戦共に宜野座高等学校が優勝しました。

また、平成22年度全国高等学校総合体育大会フェンシング競技大会に向けて宜野座高等学校、石川高等学校、教育委員会等の補助員や役員の講習会も兼ね、大会運営がスムーズにいくよう、各ポジションでの役割をこなししました。本大会は平成22年7月28日～8月1日に金武町立体育館にて行われます。この大会は第56回目にして初の沖縄県での開催となっています。町

【各種目の優勝者は次のとおりです】

男子

女子

[個人]	フルーレ	与那嶺龍一(沖縄工)	福本利奈(宜野座)
	エペ	比嘉 聖 (美里工)	平田菜月(宜野座)
	サーブル	高江洲孝樹(美里工)	宮城ひろの(宜野座)
[団体]		美里工業高等学校	宜野座高等学校(6連覇)

民あげて大会を盛り上げていきましよう！



試合前の会場設営



試合前の用具検査



男子サーブル



男子フルーレ



女子サーブル



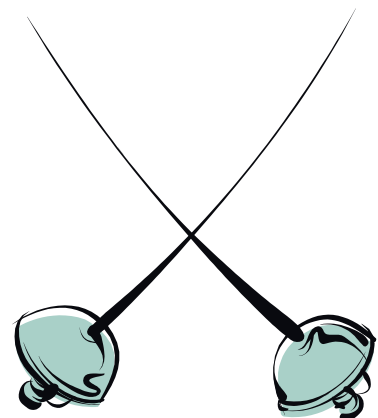
女子団体戦へ挑む宜野座高等学校



男子団体戦



女子団体戦で6連覇を果たした宜野座高等学校



山口県山陽小野田市立小中学校・中学校訪問視察研修報告

※モジュール学習の例▼単位時間(45分)を分割し、基礎基本の学習を行う。



はじめに 金武町各学校は昨年度より反復学習の効用に着目し、先進的に取り組んでいる学校の視察と、それから、自ら反復学習等の実践によつて実証された効用について、科学的な研究で独自の理論を確立し、そのことを広く全国に説いて回つておられる小河勝先生を招聘し、理論研修を行うなどの研鑽を積んできました。

今年度から各学校は反復学習の導入を考えており、具体的にはモジュール学習の取組を計画・推進していきます。そこで、今回の県外視察で知り得た、その効用や手法等について各学校の先生方に伝え、より良いモジュール学習の推進が図られるような報告書になれどと考へ、視察研修に行かれた先生方にまとめていただいております。後日、教育委員会と各先生方のまとめを「県外視察訪問研修報告書」として冊子にし、町内各学校の先生方にお配りする予定です。教育委員会からは「県外視察訪問

研修報告シリーズ」として数回に分けて「くくむ」で報告致します。

■1日目 平成22年5月17日(月)

山陽小野田市立小野田中学校訪問視察

学校に着いた先生方は一様に緊張した面持ちでした。はじめに、校長室に通され学校側からモジュール学習の取組について概略の説明がございました。

モジュール学習の取組を始めた平成18年当初の小野田中学校は、問題行動が多かつたようで、課題の多い状況での導入で、先生方も不安を抱きながらの取組だったそうです。

これまでの経緯を踏まえ、先生方はモジュール学習の視察に移りました。モジュール学習の開始直前は少しぎわついているクラスもありましたが、担任が開始の合図等を発するとぎわつきも波が引くように消えていき、殆どの生徒がモジュール学習に集中して取り組

んでいました。周囲を見回すなど少し落ち着かない生徒も1・2人はいいましたが、メリハリのあるモジュール学習でした。

研究主任や手の空いた先生方は、モジュール学習の最中廊下において、中には掃き掃除をしている先生もいらつしゃいました。先生方はモジュール学習の内容によつては支援できる体制をとっているのとこのとでした。掃き掃除をしている先生は、「常に良い学習環境を」と



言う思いでやつておられているとのことでした。

モジュール学習の視察を終えての質問に対する説明を聞く会が設けられました。

その中の評価についての説明で、教室の中には様々なレベルの生徒が同じ内容に取り組んでいる現実を捉え、個々のレベルでどれだけ伸びたか(どれだけ頑張ったか)を評価しているとのことでした。頑張れば個々のレベルで伸びた生徒にはAという評価が与えられます。その事で励まされた生徒たちへの意欲につながればとのことでした。

「生徒たちもモジュール学習の効果を実感しやる気を見せてきている」などの説明を聞いて、金武町もモジュール学習の効用を認識し、児童・生徒全員が意欲をもつて取り組めるものになしようと考へ、計画推進していきます。

文責 学校教育課主任指導主事

宜野座幸男

金武町スーパーバドミントン大会開催!!

平成22年5月16日(日)に金武町子ども会育成連絡協議会による「金武町スーパーバドミントン大会」が金武町立体育館にて行われました。金武町内各区子ども会から参加した男女各7チームが優勝をめざし熱い戦いが行われ、予選リーグを勝ち抜き優勝を手にしたチームは、男子3区チーム・女子屋嘉区チームでした。金武町ジュニア・リーダーのメンバーも役員として頑張り、最後に男子3区チームと対戦したが優しさの表れなのか？負けてしまいました。今大会で優勝した両チームは県大会へ町代表として参加します。県大会での活躍にも期待したいと思えます。



優勝した男子3区チーム



優勝した女子屋嘉区チーム



盛り上がる応援団



第20回やんばる駅伝競走伊江島大会

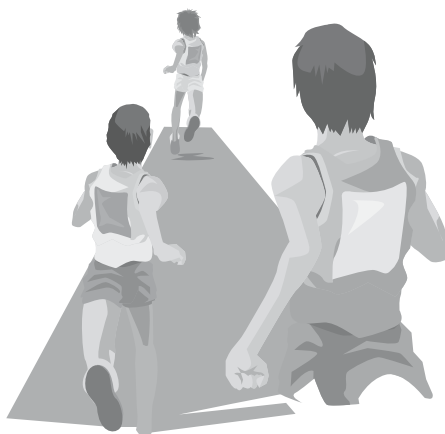
5月22日(土)にやんばる駅伝競走大会が伊江村で開催されました。晴天の中、選手一人一人が一本のタスキを繋ぎ粘り強い走りを見せました。金武町チームは、2時間58分42秒で14位になり昨年のタイムを13分54秒縮め見事、躍進賞を獲りました。また、金武町チームの4区を走った与那覇大二郎選手が6.8Kを22分22秒で2位に22秒差をつけて見事、区間賞に輝きました。



スタートの様子



区間賞の与那覇大二郎選手



第32回金武町民体育大会(軟式野球競技)

5月23日(日)町営グラウンド他で金武町民体育大会軟式野球競技が行われました。

真夏を思わせるような日差しが降り注ぐ中、太陽にも負けなような熱戦が繰り広げられました。

決勝戦は、2年連続二区対屋嘉区の戦いで行われ二区が圧倒的な打線で見事二連覇に輝きました。



優勝の三区チーム



準優勝の屋嘉区チーム

優勝 二区

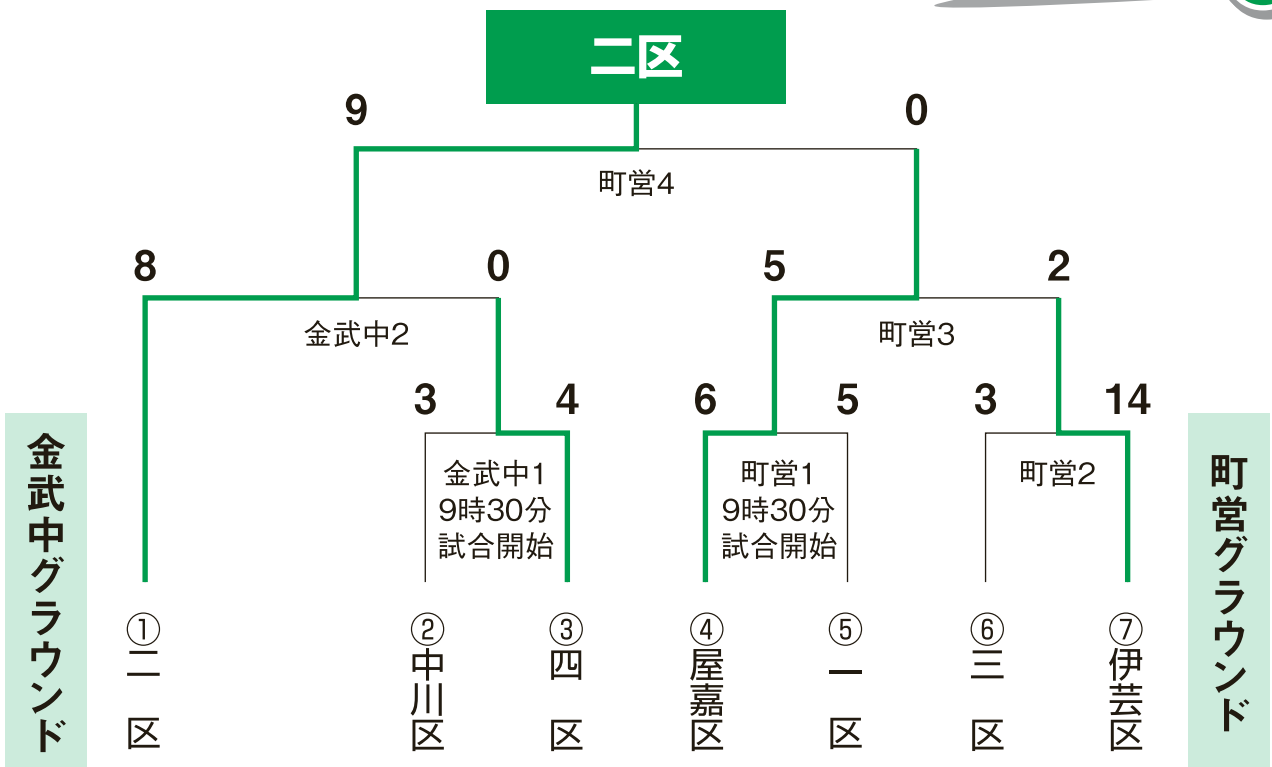
準優勝 屋嘉区

第3位 伊芸区

- 第4位 四区
- 第5位 一区
- 第6位 中川区
- 第7位 三区



軟式野球大会対戦表

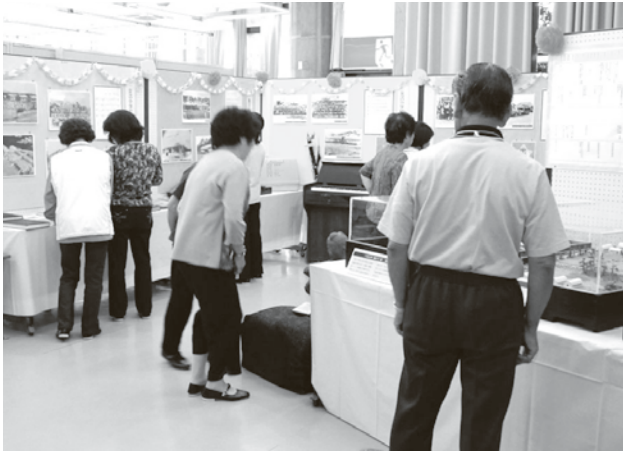


懐かしいあの頃へタイムスリップ



五月十一日(火)～三十日(日)、町立中央公民館中ホールにおいて、「学校く学び舎の思い出」と題する企画展示を行いました。

町内小・中学校の歩みを年表に整理したパネルや写真、金武小校舎の変遷を示した模型の他、かつて学校で使用されていた教材や備品、制服などの品々を展示しました。訪れた方々は

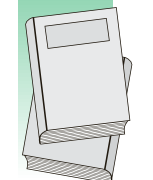


展示の様子

「昔の物をもっと見たい」、「見たことがない昔の教材に触れられた」などの感想を頂きました。今後も年に数回、さまざまなテーマで町史編さん室の収蔵資料を中心に紹介・展示を行っていく予定です。

ガリ版印刷機や給食の食器など今では見かけなくなった教材、写真パネルを懐かしくご覧になられていました。アンケートでは「昔の物をもっと見たい」、「見たことがない昔の教材に触れられた」などの感想を頂きました。

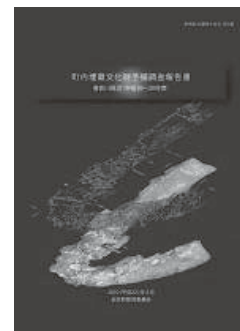
刊行物紹介



このたび教育委員会では埋蔵文化財予備調査報告書を刊行しました。

この調査は、地域に埋もれた文化財の分布状況や概要を把握するために行うもので、本町では平成18年度から文化庁・県の補助を得て継続実施しています。今回の報告書は、億首ダム事業地内で確認した宿道や戦前の耕地跡など億首川周辺を主な対象

象として平成18～20年度に行った調査の成果をまとめています。町立図書館や教育委員会(文化財係)で見ることが出来ます。【お問い合わせ】968-5277 (文化財係)



表紙

2.3 ウヤギの堰堤状石積遺構【3地点】

【1・2地点】が分布する沢の上流で確認した、堰堤状の石積遺構である。【1地点】と同様、両側の斜面がV字状に切り立つ幅の狭い谷間に構築されている。石積は、幅約4.4m、高さ約1.4m(最頂部で計測)の規模で沢の流れを塞ぎ止めるように築かれ、石積の背後(上流側)は上端まで土砂が堆積している。向かって正面中央が抉れていたが、流水による決壊なのか意図的に石を外した結果なのか定かではない。石積は野面積みだが、内外に石材を積み上げながら内部に土砂溜じりの比較的細かい隙を充填していく比較的丁寧な構築過程が窺える。上流側より下流側における構成石材のサイズが大きい(下写真058)。

県内の調査事例を参照すると、池原上田原・仕明原原遺跡(沖縄市)の階段状水田跡に伴う石積遺構に類似する。だが今回確認した石積では水田の痕跡を明確に認めることはできず(図5.8)、聞き取り調査でも手掛かりとなる情報の入手には至らなかった。

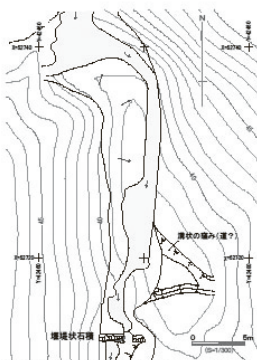


図5.7 ウヤギの堰堤状石積【3地点】周辺 平面図



057 堰堤状石積遺構確認状況
058 石積遺構の野面積み
写真5.4 ウヤギの堰堤状石積【3地点】

* 谷筋に段状に構築された水田跡が報告されている(沖縄市教委編2008)。

平成22年度

「青少年の深夜はいかい防止」及び「未成年者飲酒防止」

県民一斉行動 金武町民大会

多数の町民の
皆様のご参加を
お待ちしております!!

日時:平成22年7月8日(木)午後6時

場所:金武町営グラウンド

(雨天時は町立体育館で開催)

主催:金武町青少年健全育成連絡協議会



民具の紹介①

行李(こうり)

暑さも増してきた今日この頃、衣替えの季節になりましたね。

今ではプラスチックの入れ物やタンスに洋服を収納するようになりましたが、タンスが明治時代に普及する前は、行李に衣類を収納していました。旅行用の荷物入れとしても使われていて、竹や柳、藤などを編んでつくられています。行李は通気性がいいので、おにぎりなどを入れる、弁当行李というのもあったそうです。夏はベトベトせず、冬はさめにくいという利点がありました。



行李

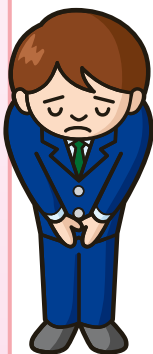
編集後記

全国高校総体沖縄開催を受け、金武町はフェンシング競技の会場になっています。町あげて全国フェンシング

競技の選手や関係者を歓迎し、沖縄県代表者の健闘を願い応援しましょう。

山口県山陽小野田市小・中学校訪問視察研修に行かれた先生方は、早速各学校において報告され、モジュール学習に活かそうと校内研修等で協議を重ねているところです。今後の取組に期待します。

※お詫びと訂正



十八号金武小学校校長室便りのクラス全員が七時十五分～八時に門をくぐれるようにの波線部分は七時四十五分の間違いでした。訂正してお詫び申し上げます。